



第119・120号 (昭和44年10月・11月)

目次

関係法令	1
学内規則	2
富山大学液体窒素製造装置室規則	2
富山大学液体窒素製造装置室運営委員会規則	2
富山大学大学院学則の一部を改正する学則	3
富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則	8
富山大学大学院薬学研究科委員会規則の一部を改正する規則	3
富山大学大学院工学研究科委員会規則の一部を改正する規則	3
富山大学職員ホール運営内規の一部を改正する内規	3
富山大学工学部規則の一部を改正する規則	4
諸会議	5
人事異動	5
学内諸報	6
大学紛争の経過 (6)	6
王者のうた——御製の作曲に因んで——	7
職員文化展	7
東海北陸地区国立学校施設担当部課長会議	8
胃の集団検診	8
山村正之助文部技官逝去	8
職員消息	8
主要日誌	9

関係法令

政令

札幌オリンピック冬季大会の準備等のために使用する施設の用に供される国有財産の無償使用に関する政令 (264)	10. 23
職員の兼業の許可に関する政令の一部を改正する政令 (265)	10. 24
所得税法施行令の一部を改正する政令 (273)	11. 20

府令

人事統計報告に関する総理府令の一部を改正する総理府令 (総理39)	10. 4
職員の兼業の許可に関する総理府令の一部を改正する総理府令 (同40)	10. 24

内閣及び総理府の管理に属する物品の無償貸付及び譲与に関する総理府令の一部を改正する総理府令 (総理41)	11. 1
--	-------

省令

国家公務員共済法施行規則の一部を改正する省令 (大蔵53)	10. 1
国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令 (同54)	10. 6
保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則の一部を改正する省令 (文部・厚生3)	10. 15
国有財産法施行細則の一部を改正する省令 (大蔵57)	10. 28
危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令 (自治31)	11. 21

規則

俸給の特別調整額の一部を改正する規則 (人事院9—17)	10. 1
特殊勤務手当の一部を改正する規則 (同9—30)	〃
隔遠地手当の一部を改正する規則 (同9—31)	〃
俸給表の適用範囲の一部を改正する規則 (同9—2)	10. 16
俸給の特別調整額の一部を改正する規則 (同9—17)	11. 5
初任給、昇格、昇給等の基準の一部を改正する規則 (同9—8)	11. 18
大学の運営に関する臨時措置法に基づく職員の休職に関する規則 (同11—6)	〃

訓令

文部省所管船舶乗組員に対する旅費支給規則の一部を改正する訓令 (文部21)	11. 1
---------------------------------------	-------

告示

昭和44年就学義務猶予免除者の中学校卒業程度認定試験の施行期日、場所および出願の期限を定めた件 (文部322)	10. 2
昭和36年度以降使用される文部省検定教科書定価の算出書承認申請書の様式等の改める件は廃止する件 (同323)	10. 3
技能教育のための施設を指定した件 (同324)	10. 8
所得税法第9条第1項第18号の規定に基づき、同号に規定する団体等に交付される金品等を指定する等の件 (大蔵96)	10. 17
記念物妙心寺境内を史跡に指定する件 (文部327)	10. 29
記念物森鷗外旧宅を史跡に指定する件 (同328)	〃
重要文化財の管理団体を指定する件 (文化庁9)	11. 4
記念物聖福寺境内を史跡に指定する件 (文部329)	11. 7
昭和45年度科学研究費補助金の計画調書の提出	

期間を定める件（文部330）	11. 15
指定技能教育施設の連携措置に係る科目を指定した件（同331）	〃
記念物巨福呂坂を史跡に指定する件（同333）	11. 29
記念物仮粧坂を史跡に指定する件（同334）	〃
記念物三瓶山自然林を天然記念物に指定する件（同335）	〃
記念物小治田安万侶墓を史跡に指定する件（同336）	〃

官 庁 報 告

学位授与（文部省）	10. 24
昭和44年度第一・四半期における国庫の状況報告（内閣）	10. 30
昭和43年度（出納整理期間を含む。）における予算使用状況報告（同）	11. 18
昭和44年度第一・四半期における予算使用状況報告（同）	11. 19

国家試験

昭和44年度高等学校教員資格試験合格者（文部省）	11. 1
--------------------------	-------

学 内 規 則

富山大学液体窒素製造装置室規則の制定

富山大学液体窒素製造装置室規則を次のとおり制定する。
昭和44年10月20日

富山大学長 後 藤 秀 弘

富山大学液体窒素製造装置室規則

（設置）

第1条 富山大学（以下「本学」という。）に、液体窒素の製造ならびにその配分を円滑にして研究および教育の推進を図るため、富山大学液体窒素製造装置室（以下「装置室」という。）を置く。

（業務）

第2条 装置室は、次に掲げる業務を行なう。

- (1)各部局から要求された液体窒素の製造と配分
- (2)その他必要な事項

（職員）

第3条 装置室に室長およびその他必要な職員を置く。

- 2 室長は、本学教授、助教授または講師のうちから第4条の運営委員会が推せんし、学長が任命する。
- 3 室長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 室長は、装置室の監督指導に当たる。
- 5 職員は、装置室の業務に従事する。

（運営委員会）

第4条 装置室の運営を円滑にするため、本学に富山大学液体窒素製造装置室運営委員会（以下「運営委員会」と

いう。）を置く。

- 2 運営委員会の組織及び運営等については、別に定める。（管理）

第5条 装置室の事務は、当分の間、経理部主計課において行なう。

附 則

- 1 この規則は、昭和44年10月20日から施行し、昭和44年4月1日から適用する。
- 2 富山大学液体窒素製造装置室設立準備委員会規則（昭和43年5月10日制定）は、廃止する。

富山大学液体窒素製造装置室運営委員会規則の制定

富山大学液体窒素製造装置室運営委員会規則を次のとおり制定する。

昭和44年10月20日

富山大学長 後 藤 秀 弘

富山大学液体窒素製造装置室運営委員会規則

（趣旨）

第1条 この規則は、富山大学液体窒素製造装置室規則第4条第2項の規定に基づき、富山大学液体窒素製造装置室運営委員会（以下「委員会」という。）の組織および運営等に関し、必要な事項を定める。

（審議事項）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 液体窒素製造装置室（以下「装置室」という。）の運営に関すること。
- (2) 室長の推せんに関すること。
- (3) その他装置室に関する重要事項

（組織）

第3条 委員長は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 室 長
- (2) 各学部および教養部の教官各2名
- (3) 事務局長

2 前項第2号の委員は、各学部長および教養部長の推せんに基づき、学長が任命する。

3 前項による委員の任期は、2年とする。ただし、その補欠委員の任期は、前任者の残任期間とし、いずれも再任を妨げない。

（委員長）

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選とする。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長の指名した委員がその職務を代行する。

（議事）

第5条 委員会は、委員の2分の1以上の出席により成立し、議事は出席委員の過半数をもって決する。ただし、

可否同数のときは、議長がこれを決する。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、経理部主計課において処理する。

附 則

この規則は、昭和44年10月20日から施行し、昭和44年4月1日から適用する。

富山大学大学院学則の一部改正

富山大学大学院学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭和44年10月20日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学大学院学則の一部を改正する学則

富山大学大学院学則（昭和42年5月19日制定）の一部を次のように改正する。

第3条中、工学研究科の生産機械工学専攻の次に「化学工学専攻」を加える。

第6条の表中

	生産機械工学専攻	8名	8名
合	計	64名	120名

を

	生産機械工学専攻	8名	16名
	化学工学専攻	8名	8名
合	計	72名	136名

に改める。

附 則

この学則は、昭和44年10月20日から施行し、昭和44年4月1日から適用する。

富山大学大学院工学研究科規則の一部改正

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和44年10月20日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院工学研究科規則（昭和42年5月19日制定）の一部を次のように改正する。

別表中、機械工学専攻欄の次に次の一欄を加える。

反 応 工 学	反応装置材料特論	4	。印 は必 修
	工業機器分析特論	2	
	反応工学特論	2	
	プロセス設計特論	2	
	拡散単位操作特論	4	
	流体力学特論	2	
拡散単位操作			

化学工学専攻	機械的単位操作	機械的単位操作特論	4
		粉体工学特論	2
		輸送現象特論	4
		伝熱工学特論	2
		応用数学特論	2
	輸 送 現 象	○化学工学演習及び実験	4
		○課題研究第一	8
		○課題研究第二	8
		研究論文	

附 則

この規則は、昭和44年10月20日から施行し、昭和44年4月1日から適用する。

富山大学大学院薬学研究科委員会規則の一部改正

富山大学大学院薬学研究科委員会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和44年10月20日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学大学院薬学研究科委員会規則の一部を改正する規則

富山大学大学院薬学研究科委員会規則（昭和42年5月19日制定）の一部を次のように改正する。

第5条第1項中「委員の3分の2以上」を「委員（長期出張中または休職中の委員を除く。）の3分の2以上」に改め、同条第3項を削る。

附 則

この規則は、昭和44年10月20日から施行する。

富山大学大学院工学研究科委員会規則の一部改正

富山大学大学院工学研究科委員会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和44年10月20日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学大学院工学研究科委員会規則の一部を改正する規則

富山大学大学院工学研究科委員会規則（昭和42年5月19日制定）の一部を次のように改正する。

第5条第1項中「委員の3分の2以上」を「委員（長期出張中または休職中の委員を除く。）の3分の2以上」に改め、同条第3項を削る。

附 則

この規則は、昭和44年10月20日から施行する

富山大学職員ホール運営内規の一部改正

富山大学職員ホール運営内規の一部を改正する内規を次のとおり制定する。

昭和44年11月4日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学職員ホール運営内規の一部を改正する内規
富山大学職員ホール運営内規（昭和41年1月1日制定）
の一部を改正する内規を次のように改正する。

第5条第2項中「人事課職員係」を「人事課能率係」に
改める。

附 則

この内規は、昭和44年11月4日から施行し、昭和44年6
月20日から適用する。

富山大学工学部規則の一部改正

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のとおり
制定する。

昭和44年11月19日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学工学部規則の一部を改正する規則

富山大学工学部規則（昭和25年12月15日制定）の一部を
次のように改正する。

別表(1)の工業化学科の表の関連科目中

「	金属工学概論	3	を
「	金属工学概論	3	
	応用数学	2	に改める。
	応用物理学	2	

化学工学科の表を次のとおり改める。

（別紙のとおり）

電子工学科の表を次のとおり改める。

（別紙のとおり）

附 則

この規則は、昭和44年11月19日から施行し、昭和44年10
月1日から適用する。

（別紙） 化学工学科

授 業 科 目	単位 数	授 業 科 目	単位 数
専攻科目		関連科目	
○輸送現象論第1	4	応用数学	6
○輸送現象論第2	2	応用物理学	4
○工業熱力学	2	電気工学概論	3
○化学工学熱力学	2	工業英語	2
○拡散操作論	4		
○粉体基礎工学	4		
○機械的操作論	4		
化学機械	2		
○工業反応速度論	4		
○反応工学	2		
装置材料学	2		
プロセス設計第1	2		
プロセス設計第2	2		
プロセス制御	2		
情報工学	2		
○物理化学	2		

無機工業化学	2
有機工業化学	2
高分子工業化学	2
応用触媒化学	3
水処理論	1
材料力学	4
水力学	4
○化学工学設計製図第1	3
○化学工学設計製図第2	2
○化学工学演習	1
○化学工学実験	5
○分析化学実験	3
○物理化学実験	1
化学工学特論	
○化学工学輪読	2
○卒業論文	10

備考 1. 化学工学特論の単位数は、必要に応じて定める。

2. ○印は、必修科目

（別紙） 電子工学科

授 業 科 目	単位 数	授 業 科 目	単位 数
専攻科目		関連科目	
電気数学第1および演習	3	自動制御	3
電気数学第2および演習	3	電磁波工学	2
電気数学第3および演習	3	電気音響学	2
電気数学第4	2	電波法規	1
電気磁気第1	2	法規および管理	1
電気磁気第2	2	工業計測	2
電気磁気演習	2	電気材料	2
電気回路第1	2	電気機器	4
電気回路第2	4	応用物理学	2
電気回路演習	3	応用数学	2
量子電子工学および演習	5	伝送工学	3
電子物性工学および演習	5	有線通信	3
電子管工学および演習	5	機械工学概論	3
半導体工学および演習	5	工業化学概論	3
電子回路工学および演習	5		
電波工学	2		
超高周波工学	2		
電子計測	2		
電気計測	2		
電子演算工学および演習	5		
情報工学および演習	5		
電子応用	2		
電子工学設計製図	4		
○電子工学実験第1	2		
○電子工学実験第2	2		
○電子工学実験第3	2		

○電子工学実験第4	2		
電子工学研修	2		
電子工学特論			
○卒業論文	10		

備考1. 電子工学特論の単位数は、必要に応じて定める。

2. ○印は、必修科目

諸 会 議

第13回評議会（10月2日）

（議題）

経済学部教官人事促進に関する条件について

第14回評議会（10月20日）

（議題）

1. 富山大学液体窒素製造装置室規則（案）および同運営委員会規則（案）の制定について
2. 富山大学プール使用規則（案）および同運営委員会規則（案）の制定について
3. 富山大学大学院学則の一部を改正する規則（案）について
4. 富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則（案）について
5. 富山大学大学院薬学研究科委員会規則の一部ならびに富山大学大学院工学研究科委員会規則の一部をそれぞれ改正する規則（案）について
6. 卒業者の認定について
7. 経済学部問題について（報告事項）

1. 昭和45年度富山大学大学院工学研究科入学者選抜試験の合格者について
2. 昭和45年度富山大学大学院薬学研究科学生募集要項について
3. 富山大学大学院薬学研究科修了者について

第15回評議会（11月19日）

（議題）

1. 富山大学工学部規則の一部を改正する規則（案）について
2. 教官人事について
3. 卒業者の認定について
4. 昭和45年度富山大学学生募集要項（案）について
5. 助手定員の削減について
6. 国大協の照会による卒業予定者の就職のための推せん選考開始時期等について
7. 大学正常化（紛争）の報告について
8. その他

（報告事項）

昭和45年度富山大学大学院薬学研究科入学者選抜試験の合格者について

第4回大学院委員会（11月17日）

（議題）

1. 昭和45年度富山大学大学院薬学研究科入学者選抜試験の合格者について
2. 大学院奨学生の推せん割当数について

富山大学大学問題対策本部会議

10月3日、17日、24日

11月7日、14日、21日

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 者
事務補佐員 (薬学部)	伊 勢 千賀子	昭和44年9月30日限り退職した	44. 10. 1	富山大学長
	渡 辺 義 之	助手（文理学部）に採用する	〃	〃
文部事務官 (附属図書館工学 部分館係長)	永 田 佐 一	附属図書館事務長に昇任させる	〃	文 部 大 臣
〃 (附属図書館)	山 出 繁	附属図書館工学部分館係長に昇任させる	〃	富山大学長
助手 (山形大学工学部)	諸 橋 昭 一	助手（工学部）に配置換する	〃	〃
用務員 (経理部主計課)	大 坪 清 彦	文部事務官に任官させる	〃	〃
警務員 (経済学部)	金 田 稔	文部技官に任官させる	〃	〃
事務員 (工学部)	真 田 剛	文部事務官に任官させる	〃	〃
(〃)	佐 野 勤	〃	〃	〃
技 術 員 (〃)	大 山 達 雄	文部技官に任官させる	〃	〃

教 学 授 部 (工 学 部)	室 町 繁 雄	工学部長・評議員に併任する (44. 10. 1～46. 9. 30)	44. 10. 1	文 部 大 臣
(〃 〃)	大 井 信 一	評議員に併任する (44. 10. 1～46. 5. 31)	〃	〃
文 部 事 務 官 (附 属 図 書 館 工 学 部 部 分 館 係 長)	永 田 佐 一	附属図書館事務長心得の併任を解除する	〃	〃
事 務 補 佐 員 (文 理 学 部)	平 岡 正 子	辞職を承認する	〃	富山大学長
(薬 学 部)	柴 野 庸 子	〃	〃	〃
(〃 〃)	富 成 佳 美 枝	〃	〃	〃
(〃 〃)	鈴 木 正	〃	〃	〃
	藤 岡 悦 子	事務補佐員(庶務部庶務課)に採用する	44. 10. 20	〃
	丸 山 啓 子	〃 (工学部) 〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (工 学 部)	西 尾 武	経済学部学務係長に昇任させる	〃	〃
文 部 事 務 官 (薬学部庶務係長)	高 松 正 雄	庶務部人事課能率係長に配置換する	〃	〃
(経済学部学務係長)	高 崎 公 文	学生部学生課教務係長 〃	〃	〃
(附属図書館総務 係長)	平 岩 広 一	薬学部庶務係長 〃	〃	〃
(学生課教務係長)	高 倉 弘 一	附属図書館総務係長 〃	〃	〃
(庶務部人事課)	中 田 節 子	文理学部に配置する	〃	〃
(文 理 学 部)	渡 辺 国 男	富山商船高等専門学校に出向させる	〃	〃
(庶務部人事課職 員係長)	泉 三 郎	庶務部人事課能率係長の併任を解除する	〃	〃
	宮 下 敬	技能補佐員(工学部)に採用する	44. 11. 1	〃
助 学 手 部 (工 学 部)	笹 倉 寿 介	講師(工学部)に昇任させる	〃	〃
(〃 〃)	新 井 甲 一	〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (富山工業高専校)	湊 馨	文部事務官(教養部)に転任させる	〃	〃
(教 養 部)	高 岡 博	富山工業高等専門学校に出向させる	〃	〃
事 務 補 佐 員 (薬 学 部)	魚 住 純 子	辞職を承認する	〃	〃
技 能 補 佐 員 (附 属 図 書 館)	岩 原 隆	〃	〃	〃

学 内 諸 報

大学紛争の経過 (6)

9月以来、教育学部、文理学部理学科、経済学部および薬学部と、つぎつき授業は再開されたが、ストライキの続いていた文理学部文学科と教養部においても授業再開の努力が積み重ねられ、まず文理学部文学科において10月1日から14日の間に5回にわたる学科団交が開かれ、16日の学生大会においてスト解除が可決され、17日から授業が再開された。

残された教養部もスト解除に向って、教官、学生の努力で数次の学部団交および学生大会が行なわれ、10月24日約

1,000名が参加した学生大会で「全学団交の開催されるまでは、週一回の学生大会と毎日のクラス討論を認める」との条件づきで、ストを解除するという提案が可決され、教養部は8ヶ月余りでストが解除され、11月1日から授業が正常に再開された。

なお、佐藤首相の訪米期日である11月17日が近づくとつれ、経済学部では11月10日午後の学生大会で、佐藤首相の訪米阻止および安保粉砕をスローガンとして、11日から17日までの1週間の期限つきストを採決し、また教養部では11月12日午後の学生大会で佐藤首相訪米阻止・大学粉砕・ベトナム解放・70年安保粉砕・沖縄闘争勝利をスローガンとして13日から17日までの5日間の期限つきストを採決し、それぞれ授業放棄を決行したが他の学部では学生大会の開

催もなく、また成立しなかったりして正常に授業は続けられた。

このように、昨今の学生活動には政治的色彩が濃く、彼等の行動も学外に向っている関係で、学内に大きな動きも見られないが、大学問題解決への教職員の一層の努力が要望される。

王者のうた

——御製の作曲に因んで——

教育学部 教授 黒坂富治

沖縄本島、北部の西海岸に「万座毛」という景勝の地があります。東には恩納嶺が見え、沖縄には珍しく広々とした平原、しかも西側は断崖絶壁になっていて、東支那海の波が打ちよせている。中世の女流詩人「恩納なべ」がこの地に因む

なみぬくいんとうまり

かぜぬくいんとうまり

しゆりていんがなし

みゅんちうがま

を詠んでいます。私は教育指導のため、沖縄に出張中この古琉歌に作曲しました。「波の声もとまれ、風の声もとまれ、首里天がなし、御機嫌様もう」という歌意です。

去る5月26日、全国植樹祭が、わが富山県砺波市の頼成山で行われました。私はその盛儀に招かれていながら、公務出張のため出席できませんでしたので、恩納なべと同じ感動を体験できなかったことを残念に思っていました。ところが7月14日の地方各新聞は、いっせいに

頼成も みとりの岡に なれかしと

杉うゑにけり 人々とともに

の陛下の御うたを発表されました。私はこの御製を作曲し、古琉歌の感動を私の芸魂に再燃しようと決心しました。

間もなく県知事部局より、作曲の依頼がありましたので、私は欣喜踊躍してこの幸運を深く感謝したことです。私は去る昭和34年の新春初頭において、御製八首を作曲した体験があるので、その体験を通じての自覚ですが、陛下の御うたは表現技法の巧拙を超えたおおらかさが充ち溢れています。私はやはり慈悲仁愛の大御心そのままの表現と思っております。頼成山も、富山県も、全国至るところ、国土が緑に美化される、こよなくわが美しい国土を愛される。そして必要な植樹を国民と共になされる。このような広大な御気持はとても一般の歌人や芸術家が詠み得るものではありません。私は謹んで作曲に打ちこみまして、別掲の楽譜による原型を得ました。さらにこの原型を展開して二部合唱、混声三部合唱、混声四部合唱に編曲し、ピアノ伴奏譜をつけて、演奏表現が多角的に可能のようにあしらったのです。

11月7日、私は東京で前お茶の水女子大学教授坂元彦太

郎氏と会話し、御製作曲の経緯についてお話いたしました。坂元氏は私の演唱のあと、沈思黙考の末、ことば短かく「王者のうたですね。立派な芸業を遺されましたね。」と言われました。私はその夜、急行列車で帰富し、11月8日の歌碑除幕式に参列したのです。神式行事のなかへ、「御製献唱」という一項目が加えられたのです。これはキリスト教、カトリックのミサの形式に倣ったものと言えましょう。私は先ず歌碑の前で独唱し、引き続き般若小学校の児童たちによって献唱されました。秋晴れの砺波野にこだましてまことに爽快でありました。吉田県知事や来賓各位から、作曲についてお手厚い犒^{ねぎ}らいのことばをいただきました。

私の作曲の心境は、憚り多い言い方になりますが、陛下の御心と「不二一体」であります。全県民も全国民も陛下の御うたと「不二一体」になって、わが国土を緑化し愛賞しなければならぬと思います。

御製 頼成も

平静に心をこめて 黒坂富治謹作曲

職員文化展

富山大学レクレーション文化部会主催による第6回職員文化展は10月30日から11月1日まで学生会館第4・5集会室において行なわれた。

会場には華道、手芸、書道、絵画、写真の各班から58名による80余点の作品が出品展示されるとともに、黒坂文化部会長から「沖縄コレクション」も併せて展示され、一般職員多数の参観を得て成功裡に終えた。

また開催第2日午後から茶道班による茶会が職員ホールで催され、班員各位の日頃の点前を披露し文化展を盛り立てた。

職員文化展作品出品者は次のとおり。

〔華道班〕

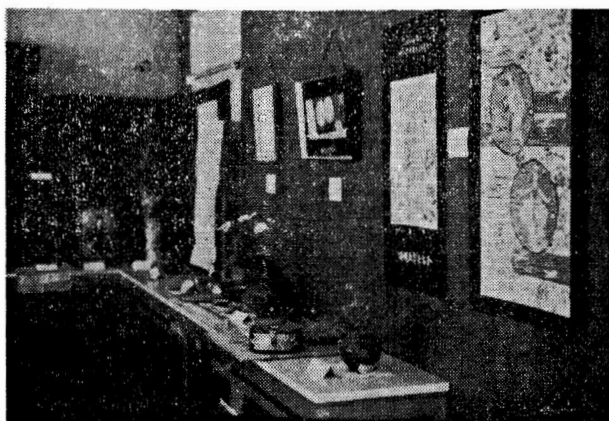
大場 文子 森田タミ子 渡辺登美枝 有沢 郁子
中島 範子 安部 保子 和田 キク 河内 美代
諏訪 京子 田嶋 スミ 高見香司子 高島 幸子
杉本 千代 山本 昭子 高尾 貢 山崎 紀子
頭川 恵子 矢後 和子

〔手芸班〕

涌井三枝子 渡辺登美枝 城川智都子 酒井 実



職員文化展の一角



沖縄コレクション展示

中田ふじえ 蓮田 初枝 御福富美子 坂東 康子
中本 敏江 高田 節子 釣 充子 中川 栄子
頭川 恵子 小泉 時世 中村 優子

〔書道班〕

若林 良吉 田中 道子 高崎 公文 毛利 勉
泉田 利享 高山藤一郎 松丘 健治 平岩 広一

〔写真班〕

麻生 友治 田中 久雄 中谷 唯一 館盛 貞信
山ノ下裕一 瀬川 慶之 常楽 邦雄

〔絵画班〕

竹内豊三郎 中川 正之 斉藤 義康 小黒 千足
高安 紀 岡本 欣司 川井 正信 中谷 唯一
荒木 一雄 関場 貞子

東海北陸地区国立学校施設担当部課長会議

第19回東海北陸地区国立学校施設担当部課長会議が去る10月14・15日に本学の当番で銀嶺荘会議室で開催され、文部省より教育施設部栗山指導課長、今井計画係長ならびに名古屋工事事務所長、その他各大学より担当部課長が出席され、当面の施設整備計画に伴う技術、予算面および学生の厚生施設等について、討議を行ない、なお指導課長より諸外国の大学施設についての講演およびスライド等により説明があり有意義に終了した。

胃の集団検診

近年、胃ガン検診に対する関心が逐次たかまわっていることを考慮し、成人病管理対策の一つとして、本学においても40歳以上の教職員を対象に疾病の早期発見による速かな治療実施の観点から次のとおり行なった。

10月30日 教育学部、附属学校

31日 経済学部、薬学部、教養部、附属図書館、経営短期大学部

11月1日 本部、文理学部

10日 工学部

文部技官山村正之助逝去

事務局、経理部経理課文部技官山村正之助氏は、胃癌のため10月17日自宅において逝去されました。

氏は昭和28年4月富山大学文理学部作業員に就職、29年経済学部、32年文理学部に、40年事務局会計課技能員にそれぞれ配置換え、43年文部技官（造園手）に任官、今日に至った。60才、富山市出身。

職 員 消 息

＜新任者＞

庶務部庶務課

事務補佐員 藤岡 悦子

文理学部

助 手 渡辺 義之

事務補佐員 本田 敬子

教育学部

臨時用務員 田盛 一枝

工 学 部

助 手 諸橋 昭一

技術補佐員 宮下 敬

事務補佐員 丸山 啓子

教 養 部

文部事務官 湊 馨

臨時用務員 今村ます子

＜住所変更＞

文 理 学 部

助 教 授 鈴木 米三

教 育 学 部

文 部 技 官 堀田 幸信

教 諭 杉村 修

〃 高桑 幸子

経 済 学 部

助 教 授 吉原 節夫

薬 学 部

助 手 的場 勝英

工 学 部

教 授 沢 畠 恭
助 教 授 池 田 正夫
〃 中 谷 秀夫
講 師 作 道 栄一
事 務 員 能 手 哲治
文 部 技 官 酒 井 アイ

技 能 員 森 田 憲治

教 養 部

助 教 授 上 野 英雄

経営短期大学部

助 手 珠 玖 拓治

<改 性>

教 育 学 部

文 部 技 官 堀 田 幸信 (旧姓・坂本)

主 要 日 誌

本 部

- 10月2日 評議会
3日 大学問題対策本部会議
4日 全学集会(団交)予備折衝
9日 授業料減免選考委員会, 第9回補導協議会
14・15日 東海北陸地区国立学校施設担当部課長会議
17日 大学問題対策本部会議
18・19日 庶務部レクリエーション旅行(一重ヶ根温泉)
20日 評議会
21日 職業補導担当者会議
23日 事務協議会
24日 大学問題対策本部会議
30日 補導協議会, 授業料減免選考委員会
30日~11月1日 職員文化展
11月1日 胃の集団検診
7日 大学問題対策本部会議
8日 学内野球大会
13日 職業補導担当者会議
14日 大学問題対策本部会議
17日 大学院委員会, 昭和45年度入学試験問題作成打合せ
19日 評議会
21日 大学問題対策本部会議
27日 補導協議会
29日 バレー・バトミントン大会(於・富山商船高専校)

文 理 学 部

- 10月17日 文学科授業再開
24日 教授会, 人事教授会

29日 学部職業補導委員会

- 11月12日 教授会
19日 選考委員会
21日 人事教授会
26日 選考委員会, 教員志願者採用協議会

教 育 学 部

- 10月3・4日 日本教育大学協会北陸地区第1第2部会合同協議会, 附属小学校5年生林間学校(立山登山)
8日 教務委員会, 教務補導合同委員会, 教授会
11日 学部集会(団交)
13~16日 附属中学校修学旅行
15日 教務委員会, 学部対策委員会
17日 学部図書委員会
20日 学部対策委員会
21日 教務委員会, 教育実習委員会
22日 人事教授会, 教授会, 附属小学校遠足
23日 大阪府教員採用試験現地面接
24日 大阪市教員採用試験現地面接
26日 日本教育大学協会北陸地区教育心理学・教育学研究協議会
29日 学部改革準備調査会
30日 特別教職課程委員会
11月2・3日 附属中学校学園祭
5日 学部図書委員会, 学部対策委員会, 教授会
10日 学部改革準備調査会
11日 教務委員会
12日 紀要編集委員会, 学部改革準備調査会
14日 教務委員会
16日 附属小学校父親学級開設
19日 人事教授会, 学部改革準備調査会
24日 教務委員会
26日 職業補導委員会, 教授会
28・29日 日本教育大学協会北陸地区第二部会理科学研究協議会

経 済 学 部

- 10月7日 親睦会幹事会
20日 学生大会(無期限スト突入動議否決)
23日 教務委員会
29日 学部補導委員会, 第15回教授会
11月10日 学生大会(一週間の期限ストに突入)
12日 教務委員会
18日 授業再開
26日 教務委員会, 第16回教授会
29日 教務委員会
29・30日 学部レクリエーション旅行(和倉温泉)

薬 学 部

10月2日 教授会 4日 教授会
 8日 教授会
 11日 第3回和漢薬シンポジウム（於・京都薬科大学）
 15日 教授会，薬学研究科委員会
 18日 日本薬学会北陸支部例会（於・金沢大学）
 22日 教授会，学部図書委員会，薬学研究科委員会
 24日 人事教授会
 27日 病態生化学教授選考委員会
 29日 教授会 30日 学部図書委員会
 11月5日 教授会
 6日 薬品会成化学講座教授選考委員会
 11日 資源開発講座教授選考委員会
 12日 教授会，人事教授会
 12・13日 薬学研究科入学試験
 13日 薬学研究科委員会
 19日 教授会，人事教授会
 21日 薬学研究科委員会
 24日 資源開発講座教授選考委員会
 26日 教授会

工 学 部

10月5日 金沢大学工学部とスポーツ交歓試合
 8日 教官懇談会
 14日 前学期授業修了
 17日 専任教授会，一般教授会
 18日 後学期授業開始
 21日 補導委員会 22日 研究科委員会
 29日 一般教授会
 11月5日 補導（学生）委員会，一般教授会，研究科委員会
 6日 工学部将来計画委員会
 8日 工学部将来計画委員会
 10日 胃の検診
 12日 学科主任会議，工学部将来計画委員会
 19日 補導（学生）委員会，専任教授会
 20日 インフルエンザ予防注射（第1回目）
 21日 一般教授会
 27日 インフルエンザ予防注射（第2回目）

教 養 部

10月1日 教授会 3日 教授会
 4日 教務委員会，教授会 6日 教授会
 7日 教養部集会（団交） 8日 教授会
 13日 教授会 15日 教授会
 18日 教授会 20日 教授会
 21日 教授会 23日 教授会
 24日 教授会
 25日 教養部集会（団交）
 27日 教授会 29日 教授会

30日 教養部集会（団交） 31日 教授会
 11月1日 前期授業開始
 4日 教授会
 5日 教養部集会（団交）
 12日 教授会 13日 教授会
 13～17日 学生ストライキ
 15・16日 教職員レクリエーション旅行（芦原温泉）
 18日 授業再開 19日 補導委員会
 20日 教授会 22日 教授会
 26日 教授会

附 属 図 書 館

10月6日 科学情報講習会（富山県立図書館内富山県科学技術文献利用振興会主催）
 11日 図書館商議会（第2回）
 24日 事務打合会（第4回），昭和44年度図書館職員研修会（富山県図書館協会主催）
 11月5日 図書選定委員長選挙
 6日 図書館職員研修会
 10日 図書選定委員長会議
 11日 事務打合会（第5回）
 21日 図書選定委員長会議

経 営 短 期 大 学 部

10月1日 後学期授業開始
 8日 授業料減免委員会
 10日～14日 10周年記念行事（学友会主催）
 前夜祭，シンポジウム，体育祭，講演会，ダンスパーティー
 15・16日 第19回全国国立短期大学主事，事務長会議（於・県民会館）
 22日 教授会
 11月7日 非常勤講師下川浩一との懇談会
 14日 後援会理事会（於・県民会館）
 15日 財務管理試験
 16日 R連盟レクリエーション参加
 19日 入試問題作成委員会
 25日 教授会
 29・30日 経済・短大合同レクリエーション（和倉温泉）

編 集

富 山 大 学 庶 務 部 庶 務 課
 富 山 市 五 福 3 1 9 0

印 刷 所

中 央 印 刷 株 式 有 限 公 司
 富 山 市 下 奥 井 28
 電 話 ☎ 7 7 7 7 代